

「情報公開文書」

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。但し、そのお申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。なお、同意の有無が今後の治療等に影響することはありません。

『市販薬過量服薬患者の臨床的特徴』に関する研究

1. 研究の対象

2018年4月1日から2021年3月31日までに東海大学医学部付属病院救命救急センターに搬送され、初回過量服薬にて精神科に診察依頼のあった方。

2. 研究実施期間

(機関の長の許可日) から 2025年3月31日 まで

3. 研究目的・方法

下記の診療情報等を利用し、市販薬過量服薬患者について解明することを目的とした研究を実施するため、当院において過量服薬で診察された方の項目4に記載する情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：患者背景（年齢、性別、教育歴、職業、婚姻歴、同居者の有無）、家族背景（遺伝要因、家族の自殺企図歴）、既往歴（精神科通院歴や入院歴、飲酒歴）、自殺企図歴、入院中の状況、精神医学的診断と評価、今回の自殺企図に関する情報（動機、企図手段、飲酒の有無、相談の有無）

試料：該当なし

5. 情報の提供先・提供方法

該当なし

6. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため開示すべき利益相反はありません。

7. 患者さんからの取得した情報について

この研究で取得した情報を二次利用する場合や研究組織以外の第三者に提供する場合には、資料の提供について改めて倫理審査委員会の承認を得た後、実施機関の長の許可を得て提供いたします。

8. お問い合わせ先

東海大学医学部付属病院 (電話：代表 0463-93-1121 内線：2260)

研究責任者・問合せ先 東海大学医学部付属病院精神科 大西 雄一